

読者のひろば



読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

「そば粉を加えて丸めるもの。たまたまサークルでその話になり、教えてくれる人がいて近い内に体験する予定です。体操サークル、ボランティア、2時間のアルバイト、毎日忙しく楽しんでいきます。(I・Tさん・女性)

「そば」は、鹿児島宮崎の郷土料理で、昔は米の代用として寒い日に食べられ、そばが固くなったら囲炉裏で焼いて食べていたそうです。そばの「そば」はそばの事で「げ」はおかゆのことを言い、地域によって材料や調理方法が異なり、そばの中心にあんこを入れる場合もあるようです。他にも昔懐かしい料理で子どもに人気があったものとして「ねったば」「ふっのもつ」「豚味噌」「ふくれ菓子」などもあります。郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で料理や味を受け継いでいきたいですね。

「今」は亡き実父が、毎晩晩酌にいらした。誕生日や父の日のプレゼントに他の銘柄の焼酎を持っていくと「おっちゃんな小鹿がよかよ」と言っていました。懐かしい思い出です。その影響か：婿も晩酌に黒小麴を飲んでいきます。(K・Iさん・女性)

今回、焼酎に関するお便りを多数いただきました。鹿児島で酒といえば芋焼酎ですよ。鹿児島県には百を超える焼酎の蔵元があり、本市では3つの蔵元があります。「神川酒造」「小鹿酒造」「大海酒造」で作られた焼酎の各銘柄を飲み比べるのも焼酎の楽しみ方の一つだと思いますので、お試してください。また、昨年の12月には日本酒や焼酎、泡盛といった日本の「伝統的酒造り」がユネスコの無形文化遺産への登録が決まりました。今回の登録が焼酎の消費拡大の追い風になり、世界で飲まれることを願います。

「頑」張って土を耕し、大根の種子まきをした。おかげでいっぱいな大根が収穫できました。皆さんに2本ずつあげて、私も1人で喜んでます。少しずつ耕しては土を入れ替えてふわふわの土に種子をまき、まびきして大変ですが、家庭菜園も楽しいですね。(K・Jさん・女性)

大根が収穫できて良かったですね。自家栽培は季節ごとの旬の野菜を楽しむことができ、日に日に大きくなる野菜を目にするだけでも育てることへのやりがいを感じられます。また、収穫する際にそれを食べる喜びや達成感、食に対する意識も高まります。自分で栽培した野菜は新鮮で栄養価も高く、味も格別。無農薬や有機肥料を使った栽培にも挑戦することで、より健康的な食生活を送ることができます。本市では、下祇川町に「市民ふれあい農園」として畑の一部を貸し出ししており、4月から翌年3月まで利用することができます。農業が初めての人も、栽培指導で専門家の適切なアドバイスを受けることができますので、安心して始めることができます。野菜等の栽培を通じて土に親しみ、農業に対する理解や食への感謝を深め、余暇の楽しみや健康づくりの場として市民ふれあい農園を利用してみませんか。

「い」ろいろあった2024年は能登の大地震に始まり、羽田での事故、今年の夏も暑かったですね。秋という雰囲気味わうことも少なく、今は「寒いですね」が口ぐせのようになりました。2025年は災害などなく平和で平凡な1年にしたいものです。人に支えられながらも無事に新年を迎えたいと思います。みなさんに協力してもらいながら1つ1つのことを乗り越えていきたいものだと思います。(ちみさん・女性)

昨年1月1日に石川県能登半島で大規模な地震が発生。8月8日の宮崎県日向灘を震源とする地震では本市でも震度5弱の強い揺れを観測し、8月下旬には台風10号により道路の冠水や法面崩壊等も発生しました。気候変動の影響を受けて災害は激甚化・頻発化しています。災害のない明るい一年になることを願って、防災意識の向上に努めましょう。



フォトネオ!

Instagram カメラ講座
2月1日にフォトスタジオカワすじの川筋順也さんによるカメラ講座を実施。市民参加型 Instagram 「かのやの歩き方」メンバーが撮影技術を学びました。